

## 令和 2 年度 伴走型小規模事業者支援推進事業

### 地域経済動向調査まとめ

令和 2 年 6 月値（令和 2 年 8 月 1 日発行）

この調査は、経営者のみなさまが、経営状況の分析や事業計画策定に活用することを目的として作成しました。たつの市及び西播磨地域の経済動向が、全国と比較してどのような特徴があるのか等を分析しています。事業活動の参考にしていただければ幸いです。

#### 調査データ出先

調査名（実施機関）	調査対象	調査対象期
西播磨地域景況調査（西播磨県民局）	管内中小企業者等 4 業種 139 社	令和 2 年 4 月～令和 2 年 6 月期
兵庫県の経済雇用情勢（兵庫県）	兵庫県の中小企業	令和 2 年 4 月～令和 2 年 6 月期
小規模景気動向調査（全国商工会連合会）	全国約 300 商工会による調査	令和 2 年 6 月期
たつの市中小企業景況調査（たつの市商工会）	管内 60 事業所	令和 2 年 4 月～令和 2 年 6 月期

たつの市商工会

## 目次

I 産業全体の業況の推移

II 調査範囲別景気動向

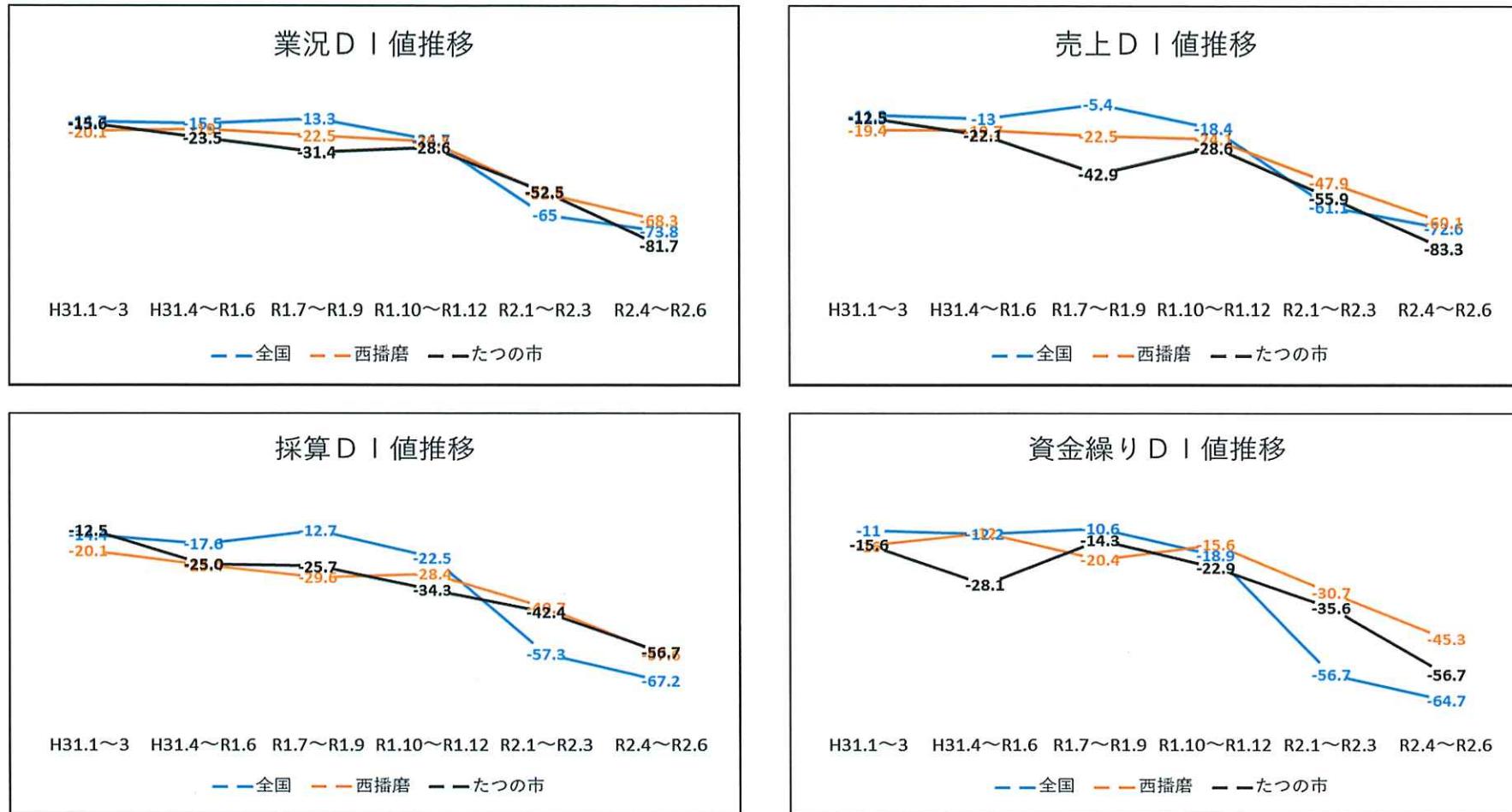
III 業種別経済状況

- ① 製造業
- ② 建設業
- ③ 小売業
- ④ サービス業
- ⑤ 業種別D I 値比較

IV 雇用状況

V 総括

I 産業全体の業況の推移 <DI値=「好転」企業割合から「悪化」企業割合を差し引いた値を示す>



<概要>

前回調査時から引き続き新型コロナウイルスの影響を大きく受け、全国、西播磨、たつの市の業況は、全調査項目で大きく悪化している。感染拡大の防止対策として、外出自粛やイベントの中止・延期、訪日客の入国・行動制限などによりヒト・モノ・カネの流れが停滞している状況が続いていることで、経済活動は大きく制約され、地域によっては解除後も客足が戻らず、この先も厳しいとする声や第2波の発生を心配するコメントが寄せられた。

## II 調査範囲別景気動向

### <全国>

2020年4-6月期の全産業の業況判断DIは、(前期▲65.0→) ▲73.8(前期差8.8ポイント減)となり、3期連続してマイナス幅が拡大した。製造業の業況判断DIは、(前期▲72.5→) ▲81.1(前期差8.6ポイント減)と3期連続してマイナス幅が拡大した。建設業の業況判断DIは、(前期▲55.2→) ▲68.1(前期差12.9ポイント減)と3期連続してマイナス幅が拡大した。商業の業況判断DIは、(前期▲63.8→) ▲67.8(前期差4ポイント減)と4期連続してマイナス幅が拡大した。サービス業の業況判断DIは、(前期▲68.3→) ▲78.4(前期差10.1ポイント減)と3期連続してマイナス幅が拡大した。どの業種も前期に引き続き、新型コロナウイルスの影響を大きく受け、マイナス幅が拡大した。

### <兵庫県>

企業の業況判断は、足もと悪化し、先行きも悪化の見通しである。個人消費は、持ち直しの動きが見られる。生産活動は、持ち直しの動きが見られる。輸出は減少しており、設備投資は、増加計画にあるものの、下方修正の動きも見られる。有効求人倍率は、低下しており、賃金は、弱い動きとなっている。倒産件数は、前年を上回った。

### <西播磨>

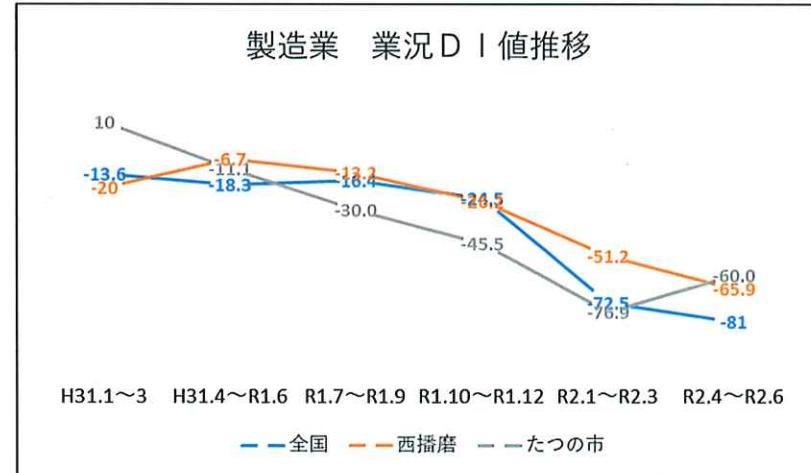
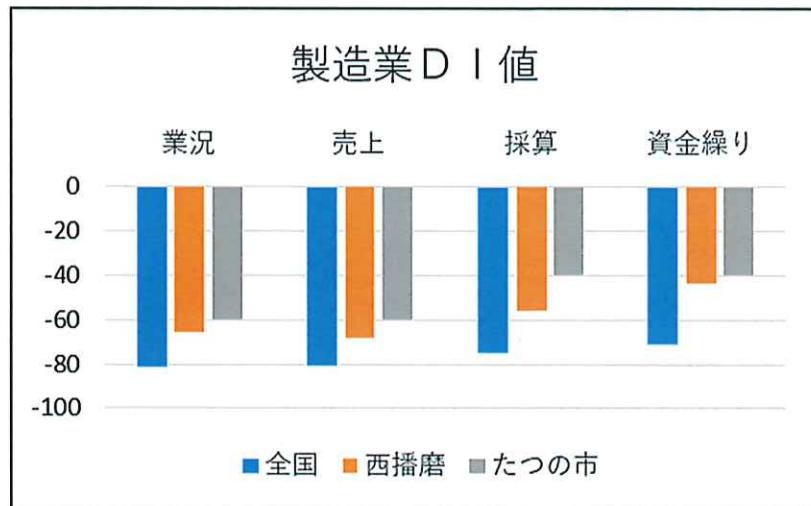
西播磨全体の業況が(前期▲53.6→) ▲68.3(前期差14.7ポイント減)と悪化、売上高が(前期▲47.9→) ▲69.1(前期差21.2ポイント減)と悪化、採算状況が(前期▲40.7→) ▲57.6(前期差16.9ポイント減)と悪化、資金繰りが(前期▲30.7→) ▲45.3(前期差14.6ポイント減)と悪化。来期は(前期▲57.9→) ▲46.0(前期差11.9ポイント増)でやや回復する見込みとなっている。全国と比較して業況、売上、採算、資金繰りの全項目で上回っており、業種別においては、商業とサービス業が若干下回っているが、その他は上回っている。

### <たつの市>

たつの市の業況が(前期▲52.5→) ▲81.7(前期差29.2ポイント減)と悪化、売上高が(前期▲55.9→) ▲83.3(前期差27.4ポイント減)と悪化、採算状況が(前期▲42.4→) ▲56.7(前期差14.3ポイント減)と悪化、資金繰りが(前期▲35.6→) ▲56.7(前期差21.1ポイント減)と悪化。来期は(前期▲61.1→) ▲43.3(前期差17.8ポイント増)でマイナス幅が縮小する見込みとなっている。

### III 業種別経済状況

#### ① 製造業



#### <全国>

製造業は、全DIが改善し、採算・資金繰り、業況の各DIが大幅に改善した。製造業全般とまでは言えないが、新型コロナウイルス感染症関係の衛生製品製造業や在宅勤務の普及で需要があった電子部品製造業において業績が改善傾向にあるとの声があった。一方で、緊急事態宣言解除後も観光客が戻らないため、宿泊施設や外食産業へ納品している食料品製造業では厳しい状態が続いている。また、国内外で自動車販売が落ち込んでおり、それに伴いカーナビゲーションシステム等関連部品の受注が大きく減少しているとのコメントも見られた。

#### <兵庫県>

緊急事態宣言解除に伴い、個人消費が若干持ち直しの動きとなったが依然として前年比を割っているところが多い。製造業は製造物や納品先により二極化されており、大半は業績の低迷があるが、一方でコロナ特需を受けている業種もある。

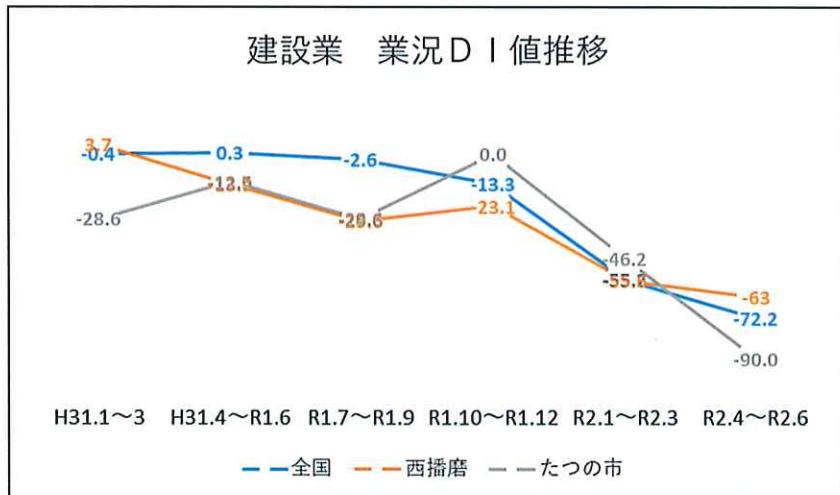
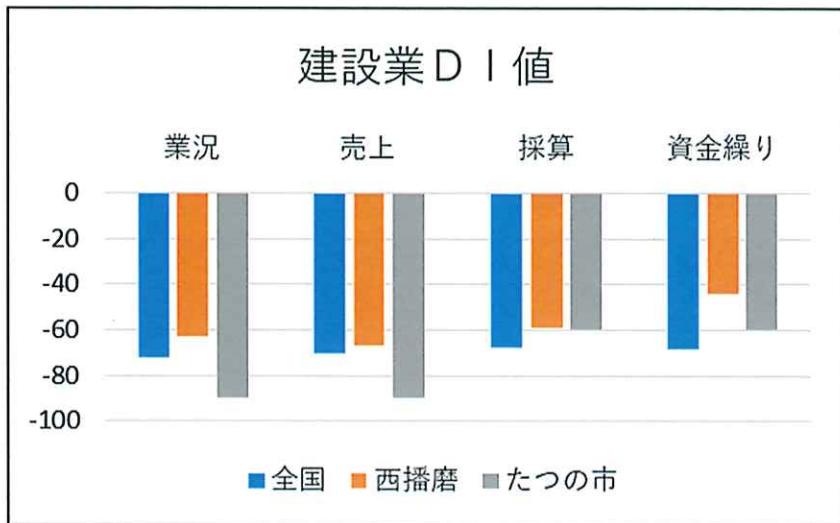
#### <西播磨>

新型コロナウイルスの影響は地域により差があり、影響の少ない地域でも状況は横ばいもしくはやや悪い事業所が多い。影響を受けている地域では、緊急事態宣言による自粛で個人消費用の商品の売上げは増加しても、業務用商品の売上げが減少している業種もある。納品先の製造停止などにより、生産量縮小・停止、週の労働日数を減らすなどの影響もでている業種もあり、需要回復の見込みは厳しいものとなっている。

#### <たつの市>

たつの市の業況DI値は（前期▲76.9→）▲60.0（前期差16.9ポイント増）と若干回復。新型コロナウイルスの影響は受けつつも、個人消費が増加傾向にあり、業績の低迷が続いているが、前期よりもやや回復したと感じられる。

## ② 建設業



### <全国>

建設業は全DIで改善し、特に資金繰りDIでは大幅に改善した。新型コロナウイルス感染症の影響により、工事の中止や発注が止まっていたが、ここにきて公需、民需ともに回復しつつある。ただし、全般的に工期に遅れが発生しており、資金繰りに影響が出ている。加えて、予定していた工事の中止や延期が発生していることや、投資をためらう動きが出来ていることから、この先の受注の減退を懸念するコメントが目立った。

### <兵庫県>

元々、公共工事等が少ない状況にあり、厳しい業況が続いている。未だ建築関連の一部業種においては、新型コロナウイルスの影響により一部材料の入手が困難となっている。また、外出等の制限が解除されたものの、取引先の営業自粛により受注及び売上が減少しており、今後も影響が続くと予想される。

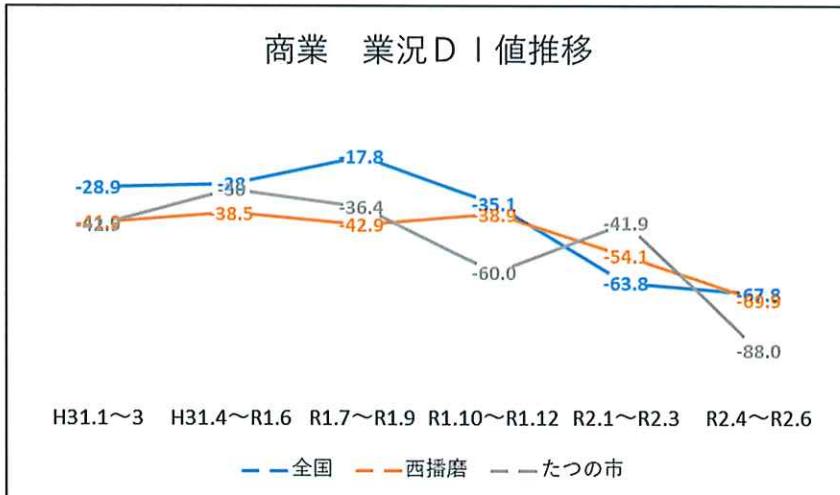
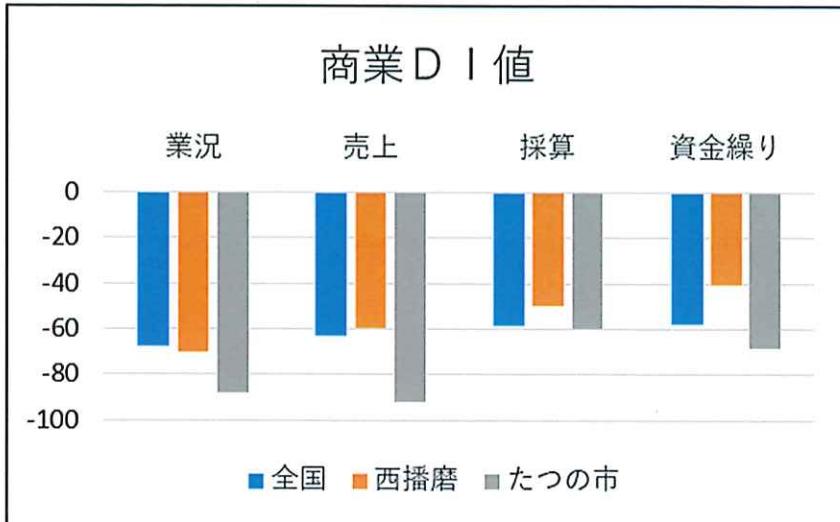
### <西播磨>

緊急事態宣言以前の注文により仕事はあるものの、工事の中断で資金繰りや売上に影響がでている。今後の見通しについては、景気が上がると予測する地域もあるものの、公共工事の減少や設備投資等を控える事などが予想されており不透明なものとなっている。

### <たつの市>

(前期▲46.2→) ▲90.0（前期差43.8ポイント減）と悪化。新型コロナウイルスの影響により、外国産など資材等の調達が遅れや発注先や元受業者からの工事の中止要請、公共工事の減少等が要因である。

### ③ 商業



#### <全国>

小売業は全DIで改善し、採算・資金繰りDIは10pt以上改善した。水準は全DIで他業種を上回った。商品券発行や特別定額給付金の支給が始まり、耐久消費財を中心に売上が多少回復傾向にある。特に、気温の上昇に伴い、エアコンなどの季節商材も売れつつあるとのコメントが見られた。しかし、衣料品については回復への足取りは重く、また、新車の納品に遅れが発生している自動車小売業では注文を見合わせる動きがあるなど、全体的には厳しい状況が続いている。

#### <兵庫県>

巣籠り消費傾向が継続している感が強く、保存が利く加工食品を中心に売上増加傾向である。家電販売は、特別定額給付金の影響で大型商品や季節商材（エアコン）などの売上が増加。新型コロナ関連商品（マスク・消毒液・ハンドソープ）の売上も好調である。一方、衣料関連の売上は伸びず二極化が進んでいる。

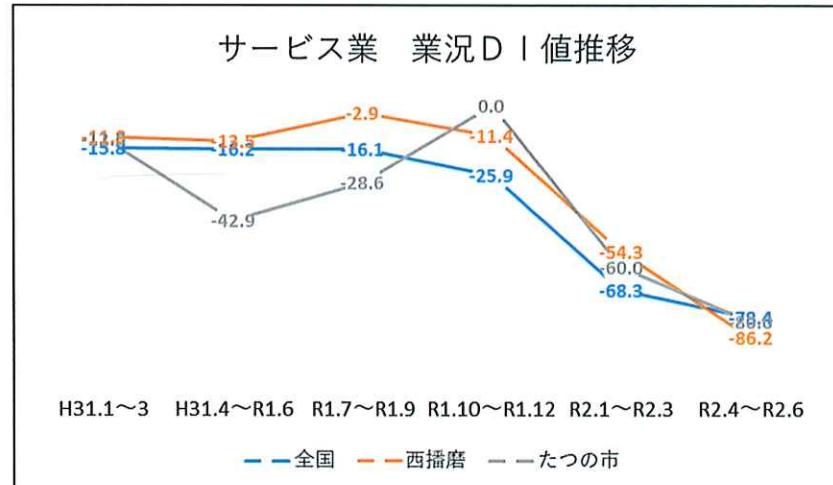
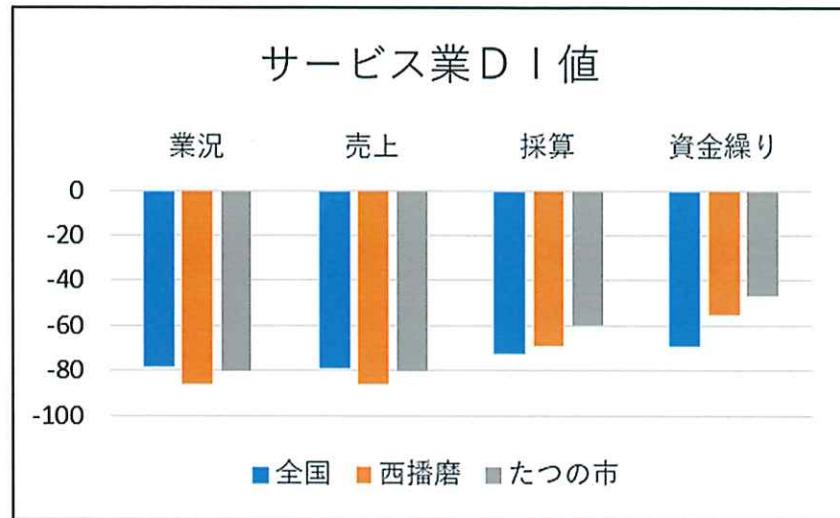
#### <西播磨>

新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言解除後、徐々に回復傾向にある地域もあるものの、消費者のライフスタイルが変わり外出を控えている人が多く、以前厳しい状況であり、休業や廃業する店舗も出てきている。

#### <たつの市>

（前期▲41.9→）▲88.0（前期差46.1ポイント減）となっており、前期は買いだめなどでコロナ特需によりDI値は回復したが、緊急事態宣言が解除されても、第2波の警戒により外出を控える人が多く、客足や売上が伸びず、慢性的に悪化状況である。

#### ④ サービス業



#### <全国>

サービス業は、全 DI で改善し、採算・資金繰り DI は 10pt 以上改善した。先月まで続いた悪化傾向から、ようやく脱した形となったが、水準は未だにリーマンショック時の最悪期を脱していない。新型コロナウイルス感染症の影響下でも状況に応じた対策をとっていた事業所では、売上が回復しつつある。また、洗濯業では夏物への衣替えシーズンと重なり、やや好転しているとのコメントが見られた。一方、宿泊業を中心に観光関連の事業者では、予約が増えつつあるとの声もあるが、未だ休業状態の事業者もあり、回復への足取りは重い。

#### <兵庫県>

クリーニング・洗濯業・清掃業については、夏物への衣替え、洗濯代行の需要増により好調な事業者がみられる。また理美容業については、緊急事態宣言の解除を受け、来店客数が戻ってきており、回復の兆しが見られるという声が多い。

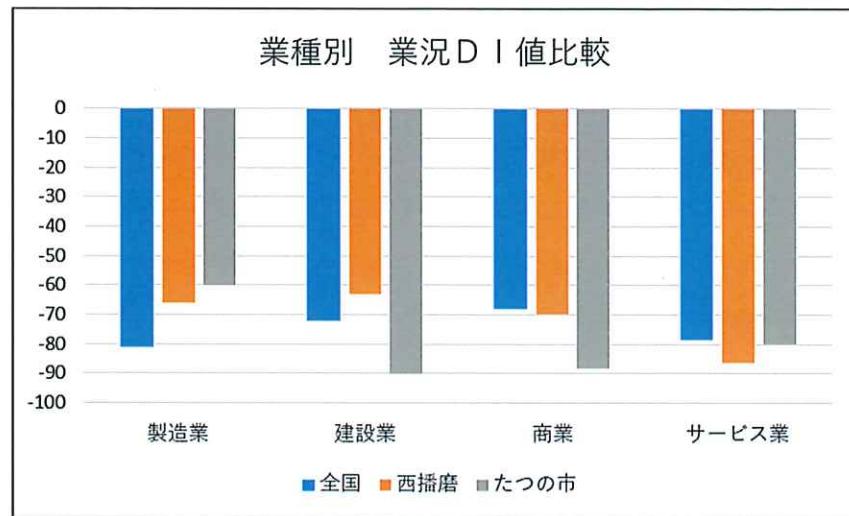
#### <西播磨>

新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言解除後、徐々に回復傾向にある地域もあるものの、消費者のライフスタイルが変わり外出を控えている人が多く、飲食業を中心（理容業、マッサージ業、学習塾など人と接する業態）に以前厳しい状況であり、休業や廃業する店舗も出てきている。各地域で飲食業応援企画として、テイクアウト商品を紹介する新聞折り込みチラシや、プレミアム商品券等の発行を行っている。

#### <たつの市>

（前期▲60.0→）▲80.0（前期差 20.0 ポイント減）と悪化。飲食店などテイクアウト方式を新たに導入し、チラシやホームページを活用して周知活動をおこなっているが、通常の売上までには至っておらず、厳しい状況が続いている。

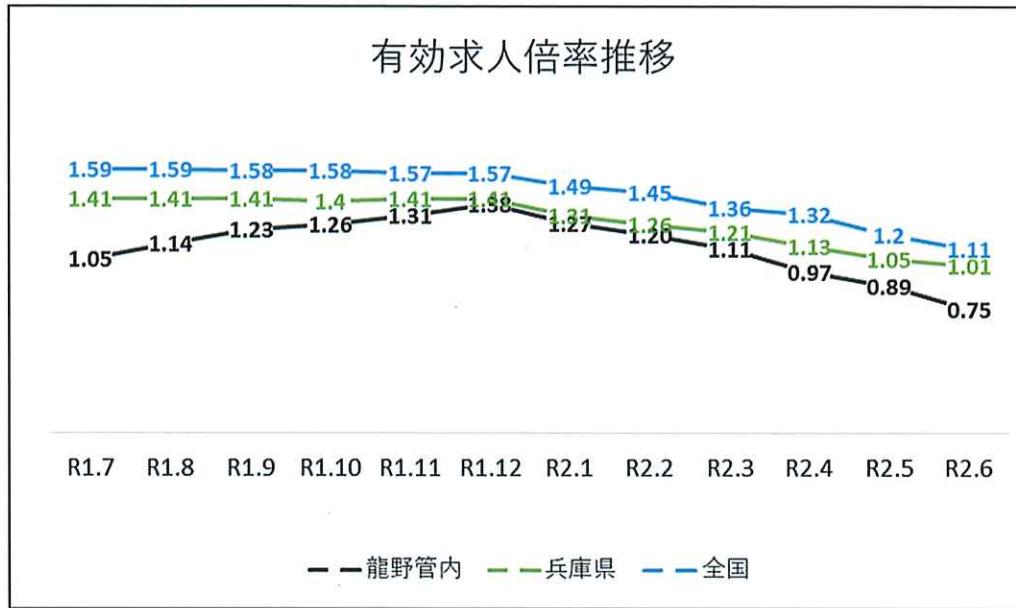
## ⑤ 業種別 D I 値比較



全国的には、6月期だけで見れば、小規模企業の景況は、全業種で改善となり、産業全体の業況DIは大幅な改善となった。しかし、近年で最悪であったリーマンショック時の水準から抜け出せていない状況である。情報連絡員からは5月の緊急事態宣言解除を受け、徐々にではあるが客足が戻りつつあるとのコメントや新型コロナウイルス感染症対策で実施した消費喚起対策の効果が出てきたとのコメントが見られた。一方で、地域によっては解除後も客足が戻らず、この先も厳しいとする声や第2波の発生を心配するコメントが寄せられた。

たつの市においては、建設業、商業については、全国、西播磨を大きく下回り、不況となっている。反対に製造業の調査については、景況感が回復傾向にある。サービス業については、西播磨、たつの市とともに、マイナスが顕著であり、コロナ禍の影響や大型店への顧客集中化が進んでいる。

## IV 雇用状況



令和2年6月期の有効求人倍率は、全国1.11倍、兵庫県1.01倍、龍野管内0.75倍となっている。この1年の推移では、全国、兵庫県は令和1年9月期までは横ばい傾向であり、たつの市は令和1年8～12月にかけて不足感が広がっていたが、令和2年1月～6月にかけては減少傾向であり、特に新型コロナウイルスの影響により4月以降の減少が大きく、採用したい企業が求職者よりも少ない状況が続いている。管内業種別では、医療関係や介護等の専門サービス業や地場産業である素麺製造業での不足感が強く、今後も、新型コロナウイルスの影響により、求人の減少傾向が進むと予想される。

※有効求人倍率：求人数 ÷ 求職者数（例 仕事が20件 求人応募者10人 なら 2.0倍）

## V 総括

国内景気は、経済活動の再開などが寄与したことで、低水準ながら持ち直しの動きがみられた。自宅内消費の広がりで内食需要が高まったほか、在宅勤務にともなうIT関連需要や新たな住宅ニーズなども表れた。また、政府・自治体による各種支援策の実施もプラス要因となった。他方、新型コロナウイルスの影響は引き続き表れているほか、海外経済の停滞により輸出入の減少はマイナス材料であった。また、一部地域では令和2年7月豪雨が景況感に悪影響を及ぼした。国内景気は、一部で持ち直しの動きがみられたものの、厳しい水準での推移が続いた。

たつの市においては、新型コロナウイルス感染症に影響により、製造業は一部の食品製造業など繁忙である業種もあるものの、全体的に製造ラインがストップし、従業員を休業させるなど大きく影響がでている。一部の設備業は、兵庫県の事業再開支援などコロナ対策支援制度によりエアコンの受注など好況であるが、住宅関係などは、材料不足などで工事が中断すなど影響が出ている。商業・サービス業については引き続き厳しい状況である。またいずれの業種においても、海外動向や新型コロナウイルスなど不確実性が高まり、後退が続くとみられる。

以上